

狙い目はココ!

【2018春 便覧】

シーズン ^{イチ}押し 主要タイヤ購入ガイド



タイヤ選びの基礎知識 2018春

雪が降る地方の人は、そろそろスタッドレスタイヤから夏タイヤに交換する季節が到来。年間を通じて夏タイヤを履く人も含めて、新しいタイヤが気になってくる時期でもある。毎年恒例となっている春のタイヤ特集だけど、今年はページ構成を刷新。3部構成とし、Part1のナショナルブランド別の紹介は一般的な車両をターゲットとしたタイヤに絞ることで、より現実のタイヤ選びの参考になるように心がけてみた。春の訪れとともに、安全も考えて足元も新しくしてみたいはいかがだろうか？

Part1 ナショナルブランド主要銘柄ガイド

P76 BRIDGESTONE P77 YOKOHAMA
P78 DUNLOP P79 FALKEN

Part2 プライベートブランド主要銘柄ガイド

P80 AUTOBACS P81 YELLOWHAT

Part3 スペシャルモデル

P82-83 専用キャラクタータイヤ・レビュー

タイヤラベリング性能を再確認

タイヤを選ぶ際にはタイヤのラベリング(表示方法)制度も参考にしよう。これはタイヤメーカーなどの団体である日本自動車タイヤ協会(JATMA)が業界自主基準として策定しているもので、転がり抵抗性能とウェットグリップ性能の両方ともにある一定の水準を満たすタイヤを「低燃費タイヤ」として認定。ユーザーに対

して最適な情報を提供するために設けている。上段は低転がり抵抗係数で「AAA」から「C」まで5段階で表示。左側になるほど転がり抵抗が少なく、「AAA」がもっとも高い性能となる。

下はウェットグリップ性能で、「a」から「d」まで4段階で表示。こちらも左側が高性能で「a」がもっとも高い性能だ。サンプルだと低転がり

性能は「A」、ウェットグリップは「b」となる。この表示を見れば、エコタイヤの性能とキャラクターを判断しやすいというわけだ。

